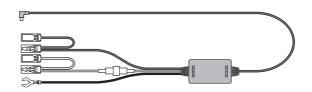
azur

DRC-P01

ドライブレコーダー用 駐車 ^{監視} ケーブル



製品 適合機種			
ご覧になりたい商品の型番をクリックしてください			
DRX - P518		DRX:G515	
mov and	\equiv	NDV-CDGS10	
0000	=	DIXECISSIO	
DRX-GFR02			
	ご覧になりたい	ご覧になりたい商品の型番をクリッ DRX+P513 DRX+GFR01	ご覧になりたい商品の型番をクリックしてください DRX+P5118 DRX+GFR01 DRX+GFS518



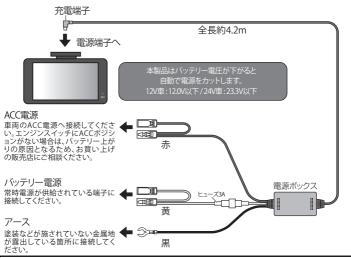
- ●上記機種以外に本製品を絶対に取り付けしないでください。重大な事故や火災の原因となる可能性があります。
- ●すべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- ●本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

商品構成一覧/接続方法

本製品を使用する前に、必ず同梱物を確認して下さい。

商品構成 ■ DRC-P01 本体 ■ 保証書

接続方法



⚠ 使用上のご注意

- ●配線の前に、必ずエンジンキーが抜かれていることを確認してください。またショート等による事故防止のため、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。
 - ※本製品の取り付け・配線には、専門技術が必要となりますので装着は、販売店または専門技術のある方にご依頼ください。
- ●車両のスマートキー(車両メーカーによって名称が異なります)を電源ボックスに近づけると、電波干渉により、「スマートキーが見つからない」という車両側の警告が発生する場合があります。

スマートキーは電源ボックスから30cm以上離してご使用ください。

動画記録方法 DRX-P518

※「専用リアカメラBCX-018」と併用して接続することはできません。 本製品と「専用リアカメラBCX-018」を同時に接続したい場合は、お買い上げの販売店または、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

駐車監視モード

エンジンを停止してドライブレコーダー本体の電源がOFFになった後でも、衝撃を感知すると、感知後の映像を録画することが出来ます。駐車監視モードで録画された映像ファイルは保護されます。



駐車監視モードを作動させる

- ■電源がオンのときにエンジンを停止すると、画面に 左図の操作メニューが表示されます。
- 「駐車監視」を選択すると、画面表示が消え、約1分後 に駐車監視モードが作動します。
- 駐車監視モード作動中に衝撃を感知すると、感知後の映像を約12秒間録画し、その後、再び駐車監視モードに戻ります。
- ▲ 警告 駐車監視モードは車両バッテリーで動作します。その為、バッテリー電圧が低下(12V車:12V以下、24V車:23.3V以下)すると、自動で本体電源がオフになります。
- ▲ 注意 駐車監視モードが作動すると、「ピーン」というBEEP音が鳴動します。音声設定で消音にしているときは、このBEEP音は鳴動しません。
 - ※ 音声録音設定については、DRX-P518のマニュアルの「各種設定」を 参照してください。
 - ※ バッテリーの状態によって、駐車監視モードが稼働できる時間は変動します。

駐車監視モードからの復帰

- エンジンを始動すると、自動録画モードに戻り、駐車監視モードを解除します。
 - ※ 自動録画モードについてはDRX-P518のマニュアルの「設定メニュー」を 参照してください。

動画記録方法 DRX-G515

動体検知モード

エンジンを停止してドライブレコーダー本体の電源がOFFになった後でも、動体を検知すると、検知後の映像を録画することが出来ます。

動体検知モードを作動させる

- 動体検知モードをオンにするとエンジン停止後も監視をすることが出来ます。
- 撮影範囲の動きを検知して自動的に映像を保存します。
- 撮影範囲の動きが停止すると、録画を停止します。





10秒後に動体検知 モードに入ります

「動体検知」の設定

- 1 設定メニュー画面から「動体検知」を選択します。 設定メニュー画面から「動体検知」を選択します。
- 2 [動体検知]を選択して、OKボタンを押す メニューを終了するには**つ**ボタンを押します。
- 3 [オン]を選択して、OKボタンを押す 動体検知モードの設定が完了します。
- 4 エンジンを切り、ACCスイッチをオフにする エンジンを切ると数秒後に

「10秒後に動体検知モードに入ります。」と画面に 表示されます。

そのまま何もしないと10秒後に動体検知モードになります。[OK] を押すとドライブレコーダーの電源が切れます。動体検知モードがオンのときは、エンジンを切り、ACCスイッチをオフにするつ と、上記の案内が表示されます。

⚠ 注意

ドライブレコーダー画面上のイメージの変化が想定される 場所(交通量の多い道路が見える向きで駐車している)など、 明るさの変化により、イメージセンサーが作動し続け、録画 する場合がありますが故障ではありません。また暗い場所に 駐車すると、動き検出機能は、物体の大小、距離などの要因 で正常に作動しない可能性があります。

動画記録方法 DRX-GFR01

駐車監視モードについて

エンジンを停止して本機の電源がオフになった後でも、衝撃を感知すると感知後の映像を録画するこ とができます。駐車監視モードで録画された映像ファイルは保護(ロック)されます。



駐車監視モードを作動させる

- ●ドライブレコーダー本体の設定メニューから「駐車監視」 をオンに設定します。
- ドライブレコーダー本体の電源がオンの時にエンジンを 停止すると、液晶表示がオフになり、駐車監視スタンバイ モードが作動します。

- 駐車監視モード
 ●駐車監視スタンバイモード作動中にGセンサーが衝撃を感 知すると、感知後の映像を約15秒間録画し、その後、再び駐 重監視スタンバイモードに入ります。
- ★ 警告 駐車監視モードは車両バッテリーで動作します。その為、バッテリー電圧が低下(12V) 車:12V以下、24V車:23.3V以下)すると、自動で本体電源がオフになります。

駐車監視モードモードからの復帰

● エンジンを始動する(ACCオンする)と、ドライブレコーダー本体が再起動し、駐車監視モードが解除さ れ、常時録画が開始されます。

動画記録方法 DRX-GPS518

駐車監視モード

エンジンを停止してドライブレコーダー本体の電源がOFFになった後でも、衝撃を感知すると、感知後の 映像を録画することができます。駐車監視モードで録画された映像ファイルは保護されます。



・駐車監視モードを作動させる

- ●電源がオンのときにエンジンを停止すると、画面に 左図の操作メニューが表示されます。
- ●「駐車監視」を選択すると、画面表示が消え、約1分後 に駐車監視モードが作動します。
- ●駐車監視モード作動中に衝撃を感知すると、感知後 の映像を約20秒間録画し、その後、再び駐車監視モードに戻ります。
- ⚠ 注意 駐車監視モードが作動すると、「ピーン」というBEEP音が鳴動します。音量設定で消音にしているときは、このBEEP音は鳴動しません。
 - ※駐車監視モード中、駐車監視録画中はモニター画面が表示されません。 ※音量設定についてはDRX-GPS518マニュアルの「P21 設定メニュー」を 参照してください。
 - ・駐車監視モードからの復帰
- エンジンを始動すると、通常録画モードに戻り、駐車監視モードを解除します。
- ▲ 注意 自動録画モードがオフに設定されている場合でも、駐車監視モードから復帰したときは自動で録画が開始されます。
 - ※自動録画モードについてはDRX-GPS518マニュアルの「P20 設定メニュー」を参照してください。
- ⚠ DRC-P01接続後、DRX-GPS518付属のシガーアダプターへ接続を変更する場合
- ●本製品(DRC-P01)を接続後、DRX-GPS518付属のシガーアダプターに接続を変更する場合、必ず次の手順に従ってドライブレコーダー本体の設定を初期化してください。

【手順1】

10秒後に下記場作を実行します。

10秒後に下記場作を実行します。

10秒後に下記場作を実行します。

10秒 ② ② ③ □

シガーアダプター接続後、エンジンをオン (ACCオン)するとドライブレコーダー本体の 電源がオンになり、上記の画面が表示されます。 約10秒以内に【取り消し】をタッチします。





⑥アイコンをタッチしてドライブレコーダー本体の 設定メニューを表示します。 システム設定内の(システム設定)から【工場出 うしまり】をタッチし、【確定】をタッチするとドラ イブレコーダー本体の設定が初期析されます。

動画記録方法 DRX-GFR02

駐車監視機能ついて

本機は、エンジンをオフにした状態でも、衝撃を感知すると、緊急録画を行うことができる「駐車監視機能」が搭載されています。

※シガー電源アダプターでは駐車監視機能は使用できません

駐車監視機能の設定

- 1 メニュー画面の「駐車監視モード」を選択します。
 - ※専用常時電源ケーブル「DRC-P01」が接続され ている場合のみ、設定項目が表示されます
- 2 「オントを選択します。
 - ※常時電源ケーブル「DRCーP01」を使用している場合であっても、 駐車監視モードの設定が「オフ」になっている場合は、駐車監視機能 は作動しませんので、ご注意ください





駐車監視モードの入り方

- 1 車のエンジンをオフ(アクセサリー:オフ)にすると、右 図の「駐車監視モード開始前」画面が表示されます。
- 2 30秒後に「駐車監視モードスタンバイ(画面は黒画面)」 状態に切り替わります。
 - ※この時、本体のLEDが緑色に点灯します
 - ※「駐車監視モード開始前」中に衝撃を感知しても録画されません。

<駐車監視モード開始前画面>



駐車監視モード録画について

駐車監視中に衝撃を感知すると、自動的に録画を開始しますが、画面は黒画面のままとなります。 駐車監視モード時の録画は、衝撃を感知した時点から30秒間録画を行います。

駐車監視モード終了について

駐車監視モード時に、車のエンジンをオン (アクセサリー:オン) にすると、駐車監視モードが解除され、本機が、 通常起動します。

⚠ 注意

- 録画時は本体LEDが赤色に点滅します。
- 駐車監視モード時の衝撃感知については、Gセンサー感度設定とは連動していません(内部固定センサー値で感知します)。
- 駐車監視録画中にエンジンをオン(アクセサリー=オン)して通常起動した場合、駐車監視録画ファイルは途中まで録画されていファイルが生成されますので、必ずしも30秒間のファイルとは限りません。

動画記録方法 Panasonic製品

駐車録画モード

エンジンを停止してドライブレコーダー本体の電源がOFFになった後でも、動体を検知すると、検知後の映像を録画することが出来ます。

(図1) Ö 5/6 制限速度警告 動き検出 フォーマット設定 初期設定 OK (図2) * 1/1 オン オフ > OK (図3)

OKを押したら電源を 切る。或いは、10秒後

駐車モードに入る。

駐車録画モードの設定をおこなう

- ●ドライブレコーダーの電源を入れる(図1) メニュー画面に[動き検出]という項目が追加されます。 ※表示される項目の位置は機種により異なります。
 - [動き検出] を選択して、OK ボタンを押す(図2) メニューを終了するには、 **つ**ボタンを押します。
- [オン] を選択して、OK ボタンを押す(図2)
 駐車録画モードの設定が完了します。
 メニューを終了するには、★ボタンを押します。

駐車録画モードを作動させる

■ エンジンを切り、ACC スイッチをオフにする(図3)

「OKを押したら電源を切る。或いは、10秒後駐車 モードに入る。」と画面に表示されます。

- そのまま何もしないと、まず30秒間録画して、その後、駐車 録画待機モードに入ります。
- [OKボダンを押すと、ドライブレコーダーの電源が切れます。このとき、駐車録画待機モード状態には入りません。
- ※[動き検出]がオンのときは、エンジンを切り、ACCスイッチをオフにするつど、上記の案内が表示されます。
- 駐車録画待機モードの状態で、ドライブレコーダー画面上のイメージで変化を感知したら、録画が始まります。
 - ※1ファイルは30秒の映像があり、一般録画のフォルダに 保存します。

駐車録画モードからの復帰

- 駐車録画待機モード中にエンジンをオン(ACCオン)すると、 ドライブレコーダーが再起動し、その後、通常録画が開始されます。(「自動録画・録音」がオンに設定されている場合)
 - ※ 駐車録画待機モード中にエンジンをオン(ACCオン)しても ドライブレコーダーが再起動されない場合は下記の操作を おこなってください。
 - 1. ドライブレコーダー本体の電源スイッチをオフにする。 2. ドライブレコーダー本体の電源スイッチをオンにする。

♠ 注意

ドライブレコーダー画面上のイメージの変化が想定される 場所(交通量の多い道路が見える向きで駐車している)など、 明るさの変化により、イメージセンサーが作動し続け、録面 する場合がありますが故障ではありません。また暗い場所に 駐車すると、動き検出機能は、物体の大小、距離などの要因 で正常に作動しない可能性があります。